

境木保育園 28年度 年間指導計画 1歳児 さくらんぼ組 園長印 担任印 					
クラスの目標		◎保育士に援助されながら、食事や排泄などの基本的な生活習慣を身につける。 ◎保育士と言葉のやりとりを楽しみ、発語への意欲を育む。 ◎自然や身近な物に触れ、自由に探索活動を楽しむ中で、外界に対する好奇心や関心を持つ。			
クラスの保育姿勢		◎一人ひとりの生活リズムを尊重し、生理的欲求を満たし、無理のない園生活が送れるようにする。 ◎やさしく語りかけ、言葉のやりとりが楽しめるようにする。 ◎子どもの驚きや喜びに共感し、親しみをもって環境に関わろうとする意欲を育てる。			
年間区分		I期(4月～5月)	II期(6月～8月)	III期(9月～12月)	IV期(1月～3月)
ねらい		・保育士と信頼関係を築き安心して過ごす。 ・保育士と一緒に好きな遊びを見つけ楽しむ。	・保育士や友達に興味を持ち積極的に関わろうとする。 ・身の回りの事に興味を持ち保育士と共にやってみようとする。	・身の回りの事を自分でしようとする。 ・秋の自然の中で体を動かして遊ぶ。	・生活の流れが解り進んで行動しようとする。 ・保育士や友達の言葉や動きを真似して、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
行事		・入園進級を祝う会 ・クラス懇談会	・親子遠足 ・プール開き ・七夕の集い ・夏祭り ・星空パーティ ・プール終い	・おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会 ・運動会 ・お散歩遠足 ・収穫祭 ・個人面談 ・お楽しみ会	・お正月遊びを楽しむ会 ・クラス懇談会・節分の集い ・お別れ遠足 ・雛祭りの集い ・お別れ会 ・卒園を祝う会
養護		・家庭との連携を図り、一人ひとりの健康状態や発達状態を把握し、無理なく園生活を過ごせるようにする。	・一人ひとりとの関わりを十分に持ち生理的欲求を満たせるようにする。	・事故や怪我の無い様に見守りながら子どもの興味が広がり、深まるように関わりを持つ。	・冬の病気や感染症に留意し健康で衛生的に過ごせるようにする。
教育	健康	・オムツや服が汚れたらこまめに取り替えきれいな心地良さを感じる。	・オムツが濡れていない時は便座に座してみる。	・保育士に誘われトイレに向かい排泄しようとする。	・鼻水が出た事を保育士に知らせ、拭いてもらったり自分で拭いたりする。
	人間関係	・保育士など身近な大人と関わり、興味や親しみを持つ。	・遊びを通して友達存在に気付き関わろうとする。	・自分のものと他人のものとの区別がつく。	・遊びを通して一緒に活動する楽しさを味わい保育士の仲立ちによって友達との関わり方を知る。
	環境	・保育室内外の安全に留意し安心できる居場所を見つけられるように整える。	・無理せず、泥んこや水遊びが楽しめるようにする。	・秋の自然に触れ戸外に興味、関心を持てるようにする。	・自分でしようとする気持ちを大切に、自信や満足感がもてるようにする。
	言葉	・大人の簡単な言葉を理解し、喃語や身振り、手振りで自分の思いを伝えようとする。	・歌や手遊びを楽しむ中で様々な言葉に触れる。	・片語や指さし等で自分の思いや要求を伝えようとする。	・保育士や友達との言葉のやり取りを楽しむ。
	表現	・一緒に歌を歌ったり、絵本を読んでもらったりする。	・水や泥に触れて感触を楽しむ。	・色々な素材や玩具を実物に見立てイメージを膨らませる。	・歌や絵本の気に入ったフレーズや言葉を繰り返す楽しむ。
食育		・園の食事に慣れ、楽しい雰囲気の中で食べる。	・手づかみやスプーンを使って意欲的に食べようとする。	・苦手なものも食べてみようとする。	・食材に興味を持ち楽しく最後まで食事をする。
配慮事項		・保護者との連絡を密にする ・安心して園生活が過ごせる様、スキンシップや言葉かけを行う。	・伝えたい気持ちを受け止め、言葉に変えて共感する。	・保育士も一緒に遊び友達との関わり方を援助していく。	・自分でしようとする気持ちを大切に、自信や満足感が持てるようにさりげなく援助する。
家庭との連携		・連絡帳や送迎時に園での様子を伝え、不安や疑問を解消するように心がける。	・連絡帳や送迎時に健康状態や子どもの成長の様子を伝える。	・子どもの成長過程を伝え、喜びを共感し、子育ての楽しさを実感してもらう。	・一年を振り返り、成長を喜び進級への不安を取り除く。
地域との関わり		・施設、園庭開放 ・近隣の公園への散歩 ・交流保育、行事への参加			
自己評価		今年度の保育期間中、またそれ以降も不安で泣く子ども一人ひとりに優しく声をかけ、抱っこやお人形で安心出来る様子になった。一日一と笑顔が見られるようになった。積極的な園庭に出たり、近くへ手を伸ばして歩く事が出来た。排泄や着替、食事や睡眠について園からの要求を理解し、無理のないように進めるようになっていった。 仕事の関係で事務所で生活しなければならぬ経験をした。引越した経験はない。新しい環境での生活は11月よりスタートした。初めての不安な事を見られたが、保育士や友達と生活の中で落ちついて生活できるようになってきている。事故や怪我もない。子どもの探索活動を支援しつつも安全に注意している。保育園においても自分が出せる力に誇りを持っており、みんなの子供達を肯定的にとらえつつ、自分自身で見守っている。寒さが厳しくなる時期に向けて体調面に気を付けていきたい。 「嫌だ」という自己主張がそれぞれに強く思いが通らないと相手とのかかわりが難しくなり、反面友達とのかかわりを通じて相手を思いやり助け合う気持ちが育ち始めている。園庭では多少あるものの春先には多い。はらばらさは春の訪れを感じて嬉しそうに遊ぶ姿が目立つようになった。年中頃まで繋ぐ接点は大きくなり、子どもたち一人ひとりが笑顔になり、笑顔で挨拶が出来ている。笑顔で挨拶が出来ると、（鼻水、咳の心配はあったもののインフルエンザ等の感染もなく元気に過ごすことが出来た。）			